

令和 8 年 度 着 手

団 体 営 土 地 改 良 事 業 計 画 書

若 狭 第 2 地 区 農 業 用 用 排 水 施 設 事 業

【 農 村 振 興 総 合 整 備 統 合 補 助 事 業 】

若 狭 町

目 次

第 1 章 目 的	1
第 2 章 地 域 及 び 地 積	1
第 1 節 地 域	1
第 2 節 地 積	1
第 3 章 現 況	1
第 1 節 気象及び海象	1
1 . 一般気象	1
2 . 特殊気象	2
3 . 海 象	2
第 2 節 土地状況	2
1 . 地形、土壌及び侵食の程度	2
2 . 土地分類	3
3 . 土地利用の状況	3
4 . 土地所有の状況	3
第 3 節 水利状況	4
1 . 用水状況	4
2 . 排水状況	7
3 . 河川状況	9
第 4 節 道路概況	10
1 . 道路概況	10
2 . 主要道路一覧表	11
第 5 節 地域農業の概況	11
1 . 産業別就業人口	11
2 . 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専兼業別農家数	11
3 . 動力農機具及び主要家畜頭数	11
4 . 主要作物作付け状況	12
5 . 農業の動向	12
第 6 節 地域環境の概況	12
第 4 章 一般計画	13
第 1 節 事業計画の要旨	13
1 . 要 旨	13
2 . 事業別面積	13

第2節 営農計画及び土地利用計画	13
1. 営農計画の概要	13
2. 土地利用区分	13
3. 作付方式	14
4. 生産計画	14
5. 労働改善計画	15
6. 級地別土地利用区分	15
7. 土地配分計画	15
第3節 用水計画	16
1. 計画基準年	16
2. 計画かんがい方式	16
3. 計画用水系統	16
4. 計画用水量	17
5. 水源計画	18
第4節 排水計画	19
1. 計画基準雨量	19
2. 計画排水方式	19
3. 計画排水系統	19
4. 計画排水量	20
5. 排水対策	20
6. たん水検討	20
第5節 道路計画	21
1. 道路及び索道	21
2. 路線配置図	21
第6節 農用地造成計画	22
1. 農用地造成計画	22
2. 土壌改良	22
第7節 洪水調節計画	22
1. 計画基準雨量	22
2. 計画洪水量及び調節量	22
3. 貯水池	22
4. 洪水調節検討	23
5. 管理計画	23
第8節 干拓計画	23
第9節 農用地整備計画	24
1. 区画整理	24
2. 暗渠排水	25
3. 客土	25
4. 農地保全	25

第10節 老朽ため池改修計画	26
1 . 洪水吐改修計画	26
2 . 堤体補強計画	26
3 . 取水施設改修計画	26
第 5 章 主要工事計画	27
第1節 用水施設	27
1 . 貯水池	27
2 . 頭首工	27
3 . 揚水機	27
4 . 用水路	27
5 . その他かんがい施設	27
第2節 排水施設	28
1 . 排水水門	28
2 . 排水機	28
3 . 排水路	28
4 . その他排水施設	28
第3節 道路及び索道	29
1 . 道 路	29
2 . 索 道	29
第4節 農用地造成	29
1 . 農用地造成	29
2 . 土壌改良	30
第5節 洪水調節施設	31
1 . 貯水池	31
2 . 頭首工及び導水路	31
第6節 干拓施設	31
1 . 堤防	31
2 . 潮止め	31
3 . 付属施設	31
4 . 埋立	32
第7節 農用地整備施設	32
1 . 区画整理	32
2 . 暗渠排水	32
3 . 客土	33
4 . 除礫	33
5 . 農地保全	33

第8節 老朽ため池改修施設	34
1．貯水池	34
2．堤体補強施設	34
第6章 附帯工事計画	34
第7章 工事の着手及び完了の予定時期	34
第8章 環境との調和への配慮	34
第9章 換地計画の概要	35
第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	35
第2節 換地区の設定	35
1．換地区の名称、所在、面積	35
2．換地区を設定する理由	35
第3節 換地計画樹立の基本方針	35
1．従前の土地の地積の基準	35
2．用途別予定地積	36
3．農用地集団化の方針	37
4．非農用地の換地方法	37
第4節 土地の評価及び清算の方法	37
1．評価の方法	37
2．清算の方法	37
第5節 換地計画樹立の年度計画	37
第6節 換地処分の特則	38
第10章 事業費の総額及び内訳	39
第11章 効 用	40
第12章 関連する事業	40
第13章 現況・計画図面	40

第 1 章 目 的

本地区では昭和42年～昭和48年に県営ほ場整備事業 瓜生地区、昭和59年～平成10年に県営ほ場整備事業 若狭鳥羽地区で整備されたが、整備後20年以上が経過し、水路等施設の老朽化が著しく、維持管理費が増大している状況である。

よって、本事業により用水、排水施設を更新することで維持管理の軽減、水田の汎用化および作業の効率化により安定を図る。

第 2 章 地域及び地積

第 1 節 地 域

(第1表)

事業名	地 域
農業用排水施設	若狭町：下吉田、三生野 地係

第 2 節 地 積

令和7年11月現在

(第2表)

事業名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
農業用排水	若狭町	66.2	—	—	—	—	66.2	
計		66.2	—	—	—	—	66.2	

第 3 章 現 況

第 1 節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	小浜観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	H23年～R2年	5月～9月	10月～4月		
平均気温 (℃)		23.4	9.1	15.1	
降水量	平均 (mm)	186	176	181	
	基準年 (mm)	—	—	—	
降水日数	平均 (日)	11	16	14	
	基準年 (日)	—	—	—	
根雪期間		12月～	3月	25日間	
無霜期間		4月～	11月	—日間	
最多風向		ESE (東南東)	最大風速	21.6 m/s	

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名 小浜観測所	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
H3年～R2年																
最大日雨量 (mm)	254	H25. 9. 16	1/59	232	H16. 10. 20	1/38	168	H23. 7. 30	1/10	152	H7. 5. 12	1/7	148	H2. 9. 19	1/6	
最大時間雨量 (mm)	66	H30. 8. 24	1/76	53	H16. 9. 24	1/14	52	H28. 7. 7	1/12	51	H11. 8. 15	1/11	47	H24. 8. 13	1/7	
最大4時間雨量 (mm)					記 録 な し											
最大連続雨量 (mm)	414	H25. 9. 15 ～H25. 9. 16	1/57	315	H23. 5. 26 ～H23. 6. 2	1/16	304	H7. 5. 11 ～H7. 5. 17	1/16	279	H18. 7. 15 ～H18. 7. 19	1/11	279	H29. 10. 22 ～H29. 10. 23	1/11	
最大連続干天日数 (日)	30	H18. 7. 30 ～H18. 8. 28	1/52	26	H12. 8. 16 ～H12. 9. 9	1/13	25	H2. 8. 18 ～H2. 9. 11	1/9	24	H8. 7. 21 ～H8. 8. 13	1/9	23	H24. 5. 16 ～H24. 6. 7	1/7	

3. 海 象

(第3表-3)

観測所名 観測期間	年~年	既往最高 潮 位	さく望平均 満 潮 位	上下弦平均 満 潮 位	平均潮位	上下弦平均 均干潮位	さく望平均 干 潮 位	既往最低 潮 位	備 考	
実 測 値					該 当 事 項 な し					

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目 傾斜区分	田						畑 ・ そ の 他								受益地標高 (m)		備考
		1/1000 以下	1/1000 ~ 1/100	1/100 ~ 1/20	1/20 ~ 1/11.5	1/11 以上	計	3° 以下	3° ~ 8°	8°~15°			15° ~ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
										8° ~ 10°	10° ~ 15°	8° ~ 15°						
農業 用排水 施設	面積 (ha)	—	66.2	—	—	—	66.2	—	—	—	—	—	—	—	—	64.0	39.0	
	比率 (%)	—	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	面積 (ha)																	
	比率 (%)																	
計	面積 (ha)	—	66.2	—	—	—	66.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	比率 (%)	—	100.0	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

(第4表-1-2)

項 目 土 壤 統 (区) 名	土 壤 区 分 一 覧 表									面 積 (ha)			備 考
	土 壤 断 面							堆 積 様 式	母 材	事 業 名			
	色	腐 植	レ キ 層	酸 化 沈 殿 物	土 性		泥炭層 黒泥層 及びグ ライ層			農 業 用 排 水 路 施 設	計		
					表土	下 層 土							
					一層	二層						三層	
D32	Y/G	無	無	無	CL	C	C	無	沖積世	非固結水成岩	42.4		42.4
D33	Y/G	無	無	無	CL	CL	CL	無	沖積世	非固結水成岩	23.8		23.8
計											66.2		66.2

(第4表-1-3)

事業名	区 分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガリ侵食程		備考
		0%	0%~25%	25%~50%	50%以上	0mm	3mm未満	3~5mm	5mm以上	中程度 のもの	大なる もの	
	面積 (ha)				該 当 事 項 な し							
	比率 (%)											

2. 土地分類

(第4表-2-1)

市町村名	級地別	農 用 地 造 成										計 (ha)	備 考	
		一級地	二 級 地				三 級 地				四 級 地			
			※ (ha)	3° ～8° (ha)	8° ～12° (ha)	12° ～15° (ha)	※ (ha)	15° ～20° (ha)	20° ～25° (ha)	25° ～30° (ha)	※ (ha)			30° 以上 (ha)
													※は傾斜 以外の要 因による もの	

(第4表-2-2)

級地別 市町村名	干 拓					備 考
	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
			該 当	事 項	な し	

3. 土地利用の状況

令和7年11月現在

(第4表-3)

事 業 名	土地利用別 市町村名	耕 地						山 林		採 草 放 牧 地	原 野	そ の 他	計 (ha)	備 考
		水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	茶 園 (ha)	そ 樹 の 園 他 地 (ha)	用 材 林 (ha)	薪 炭 林 (ha)					
農業用排水施設	若狭町	66.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	66.2	
合 計		66.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	66.2	

4. 土地所有の状況

令和7年11月現在

(第4表-4)

事業名	所 有 別 区 分	民 有 地	国 有 地	県 有 地	市 町 村	土地改良区	計	備 考
農業用排水施設	面 積 (ha)	66.2	—	—	—	—	66.2	
	受 益 者 数 (人)	52	—	—	—	—	52	
	筆 数 (筆)	578	—	—	—	—	578	
	権 利 関 係	52	—	—	—	—	52	
	備 考 (関係戸数)	—	—	—	—	—	—	
	面 積 (ha)							
	受 益 者 数 (人)							
	筆 数 (筆)							
	権 利 関 係							
	備 考 (関係戸数)							
合 計	面 積 (ha)	66.2	—	—	—	—	66.2	
	受 益 者 数 (人)	52	—	—	—	—	52	
	筆 数 (筆)	578	—	—	—	—	578	
	権 利 関 係	52	—	—	—	—	52	
	備 考 (関係戸数)	—	—	—	—	—	—	

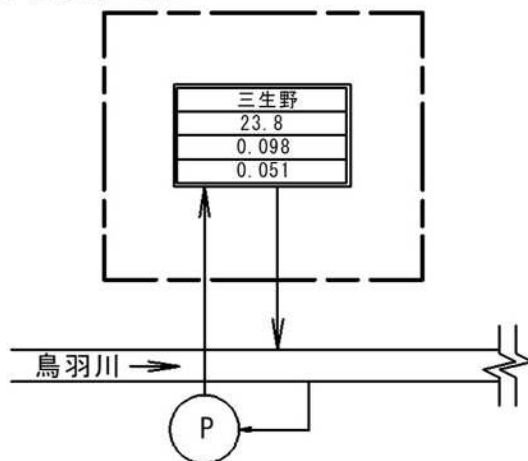
第 3 節 水利状況

1. 用水状況

本地区の用水は、一級河川 鳥羽川の水を取水し、パイプラインによって地区内を灌漑している。
しかし、現施設は、整備後20年以上経過していることから、経年劣化により、施設の機能低下が著しく、農地の灌漑に支障を来している。

(1) 用水系統

【事業範囲】 若狭第2地区



凡 例	
(イ) 地区内	(イ) 系統名
(ロ)	(ロ) 受益面積 (ha)
代接期	(ハ) 代接期必要水量 (m/s)
普通期	(ニ) 普通期必要水量 (m/s)
	(ホ) 流域面積 (ha)
(イ) 地区外	(ヘ) 代接期利用可能量 (m/s)
(ホ)	(ニ) 普通期利用可能量 (m/s)
代接期	(ヘ)
普通期	(ト)

(2) 用水施設
(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

（第3表-1）

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		許可水利権		その他		延べ 取水量	備考
		500ha以上		50～100ha		50ha未満									
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /s		
農業用排水施設	貯水池														
	井 堰														
	自 然 取入口														
	揚水機					1	23.8	1	23.8	1	0.098	—	—	0.098	
	その他														
	計					1	23.8	1	23.8	1	0.098	—	—	0.098	
合 計						1	23.8	1	23.8	1	0.098	—	—	0.098	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名又は 箇所 数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新 設 年 又は更新年	改 修 を 必 要 と す る 理 由	備 考
農業用排水施設	貯水池							
	井 堰							
	自 然 取入口							
	揚水機							
	用水路	1	23.8	水管橋	φ 350	S59～H10	老朽化及びゴミ等の流入による維持管理費増大	
	その他							
計		1	23.8					
合 計		1	23.8					

(3) 用水に関する被害状況
(ア) 用水不足による被害状況

(第5表-3-1)

事業 名	項 目 系統名	かんがい 面 積 (ha)	現 況 必要水量 (千m ³)	不 足 水 量				平 均		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		減 産 量		
				平均(m ³ /s)	基準年(m ³ /s)	平均(千m ³)	基準年(千m ³)	作 物 名	減産量(t)	
				該 当 事 項 な し						
	計									
合 計										

(イ) その他の被害状況

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積(ha)	水温(℃)		水質	被害量(t)	備考
			最高	最低			
			該 当 事 項 な し				

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

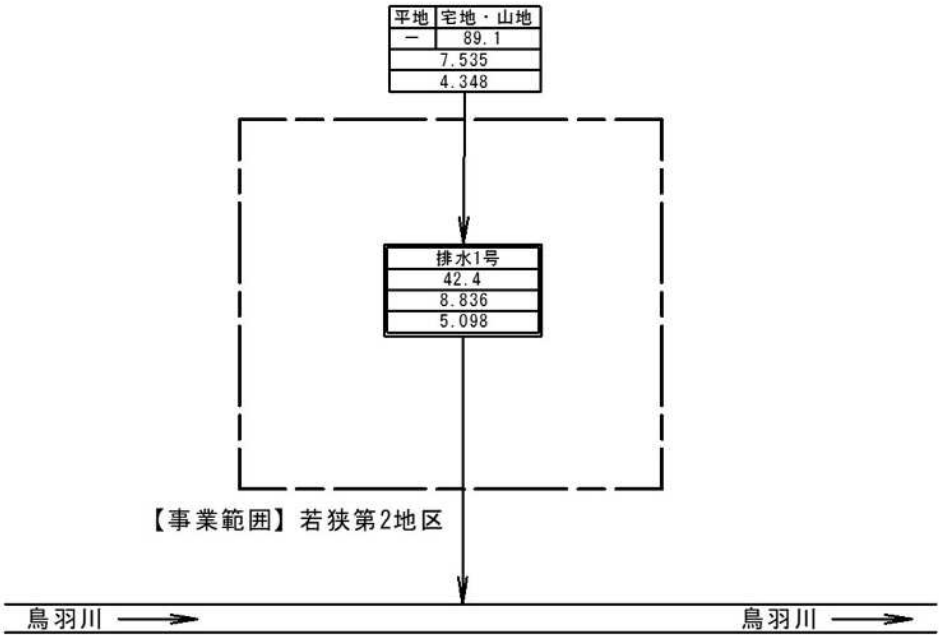
事業名	想定被害面積(ha)				想定被害額(百万円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用 施設	公共 施設	家屋 その他	計	
					該 当 事 項 な し						
合計											

2. 排水状況

(1) 排水系統

本地区の排水路は、アーチ橋・積ブロックで整備されているが、整備後25年以上経過していることから、経年変化に伴う老朽化による損傷・破損・欠損等の劣化・変状が見られる状況であり、施設及び水管理に多大な労力を費やしている状況である。

本地区の排水系統は、支線排水路の水が本排水路を経て、1級河川 鳥羽川に排水されている。



凡 例			
地区内		(イ) 系統名	
	(イ)	(ロ) 流域面積 (ha)	
	(ロ)	(ハ) 洪水時流量 (m/s)	
	(ハ)	(ニ) 平常時流量 (m/s)	
地区外			
平地	宅地・山地	(イ) 流域面積 (ha)	
(イ)	(イ)	(ロ) 洪水時流量 (m/s)	
	(ロ)	(ハ) 平常時流量 (m/s)	
	(ハ)		
	(イ)	(イ) 流域面積 (ha)	
	(ロ)	(ロ) 洪水時流量 (m/s)	
	(ハ)	(ハ) 平常時流量 (m/s)	

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項 目 施 設 名		排 水 面 積						計		排水慣行 (m³/s)	現況排水 能 力 (m³/s)	備考
			500ha以上		100～500ha		100ha未満						
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha					
農 業 用 用 排 水 施 設	自 然	排 水 路			1	42.4			1	42.4	8.836	8.836	
		水 門											
	機 械	排 水 機											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計				1	42.4			1	42.4	8.836	8.836	
合 計					1	42.4			1	42.4	8.836	8.836	

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-5)

事業名	項 目		施設名又は 箇 所 数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
	施 設 名								
農 業 用 用 排 水 施 設	自 然	排 水 路	1	42.4	アーム柵渠 積ブロック	1200×1500 1600×2600	S59～H10	施設の老朽化	
		水 門							
	機 械	排 水 機							
		水 門 及 び 排 水 機							
		排水路及び 排 水 機							
	計		1	42.4					
合 計			1	42.4					

(3) 排水に関する被害状況

(第5表-6)

事業名	項 目	排水面積 (ha)	降 水 量 (mm)		湛 水 状 況				乾 湿 状 況(ha)						平 均 減 産 量		備考
	系統名				湛 水 深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛 水 量 (千m³)	田		畑		その他		作 物 名	減 産 量 (t)	
									乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均														
			基準年														
			平均	被 害 な し													
			基準年														
	計																
合 計																	

3. 河川状況
(1) 河川状況

(第5表-7)

項 目 河 川 名	流 路 状 況	勾 配	断 面	計画洪水量	既往最大洪水量 (m ³ /s)	備 考
		該	当 事 項	な し		

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

項 目 区 分	農 用 地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作 物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備 考
過去の最大被害額					
平 均 被 害 額		該	当 事 項	な し	

第 4 節 道路概況

1. 道路概況

該 当 事 項 な し

(第 6 表)

1. 産業別就業人口

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

※表内の記号の意味は次のとおりとする(0:単位に満たないもの -:事実のないもの …:調査を欠くもの X:該当農家が2戸以下のもの)

4. 主要作物作付け状況

農林水産統計年報 R7現在 (第7表-4)

市 町 村 名			若狭町						計	平 均	作付率	備 考
総耕地面積(ha)			2,060						2,060	2,060		
総本地面積(ha)			1,630						1,630	1,630		
区 分			作 付 面 積	単 位 面 積	作 付 面 積	単 位 面 積	作 付 面 積	単 位 面 積	作 付 面 積	単 位 面 積		
作物名			(ha)	当 たり 収 量 (kg/10a)	(ha)	当 たり 収 量 (kg/10a)	(ha)	当 たり 収 量 (kg/10a)	(ha)	当 たり 収 量 (kg/10a)	(%)	
輪 換 田	表 作	水 稲	1,070	479					1,070	479	65.7	
		大 麦	46	162					46	162	2.8	
	裏 作	大 豆	8	72					8	72	0.5	
	小 計		1,124						1,124			
普 通 畑	表 作											
	裏 作											
	小 計		—						—			
樹 園 地												
	小 計											
計			1,124						1,124			
市 町 村 別 延べ作付率(%)			69.0						69.0			

5. 農業の動向

農林水産統計年報 R7現在 (第7表-5)

項 目	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地域指定等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農 機 具 名	B	A		
変化の状況 (C年を100とする指数)	総 農 家 数	81	57	耕 地	100	97	水 稲	96	82	乳 牛	X	X	田 植 機	77	—	若狭町 農業振興指定 指定 S45. 3.31 認可 H20. 2.5	A:令和2年 B:平成27年 C:平成22年
	専 業 農 家	174	—	田	99	98	麦 類	101	33	肉 用 牛	X	199	動 耕 転 機	—	—		
	第 一 種 兼業農家数	38	—	畑	100	90	豆 類	117	33	豚	—	—	トラクター	83	—		
	第 二 種 兼業農家数	80	67	樹 園 地	—	—				採 卵 鶏	X	X	バインダ	—	—		
	農 業 従 事 者 数	74	—	草 地	—	—							コンバ ^o イン	79	—		
変化の理由	担い手農家への農業経営のシフト			農地転用に伴う改廃			農地の汎用化に伴う転作面積の拡大			農業離れ			農業離れに伴う農機具所有台数の減				

※表内の記号の意味は次のとおりとする(0:単位に満たないもの —:事実のないもの …:調査を欠くもの X:該当農家が2戸以下のもの)。

第6節 地域環境の概況

本地区は、若狭町の南側に位置し、一級河川 北川の右岸に広がる中間的地域であり、豊かな自然に囲まれた地区となっている。希少な動植物としてトノサマガエル、カワムツ、アブラボテ、ドンコ、ヤマサナエ、ヌマエビ、カワニナ、シャジクモ、イチョウウキゴケ、アブノメなど多種多様な種がそれぞれ確認された。このうち、重要な種として、環境省RL、福井県RDBに指定されているトノサマガエル、アブラボテ、シャジクモ、イチョウウキゴケ、アブノメが確認されている。

第4章 一般計画
第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

老朽化の著しい用水路・排水路を排水フリーム・管水路にて改修することで、維持管理労力の軽減、排水機能を向

上させ、農地の汎用化を促進することで、安定した農業経営を確立する。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	農 業 用 用 排 水 施 設												計 (ha)	備考
	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)	水 田 (ha)	普 通 畑 (ha)	牧 草 畑 (ha)	果 樹 園 (ha)	そ の 他 (ha)	小 計 (ha)		
用水改良	42.4	—	—	—	—	42.4							42.4	
排水改良	23.8	—	—	—	—	23.8							23.8	
計	66.2	—	—	—	—	66.2	—	—	—	—	—	—	66.2	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

優良農地の保全と効率的な土地利用集積を積極的に促進し、収益性の高い作物の作付け拡大と大規模経営の推進や生産コストの低減により、農業経営の安定を図り、継続的な農業生産体制を構築していく。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	備考
農業用排水施設	現 況	66.2	—	—	—	—	—	66.2	—	—	—	66.2	
	計 画	66.2	—	—	—	—	—	66.2	—	—	—	66.2	
	現 況												
	計 画												
計	現 況	66.2	—	—	—	—	—	66.2	—	—	—	66.2	
	計 画	66.2	—	—	—	—	—	66.2	—	—	—	66.2	

3. 作付方式

(第 9 表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1 年目												2 年目												3 年目												備 考											
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12												
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月												
農業 用 用 排 水 施 設	現況	水田	輪換田			(水稲)									(水稲)									(水稲)																											
			畑利用			(なす)									(大麦)									(なす)									(そば)									(なす)									
	計画	水田	輪換田			(水稲)									(水稲)									(水稲)									(水稲)																		
			畑利用			(なす)									(大麦)									(なす)									(そば)									(なす)									

4. 生産計画

(第 9 表-3)

事業名	土地利用区分	項目	作物名	作 付 面 積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり 収穫量(kg/10a)			生 産 量 (t)			同左生産量増減 の内訳 (t)		備考	
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当 収 量 増 加		
農業 用 用 排水 施設	水田	表作	水 稲	59.2	59.2	-	94.1	94.1	491	491	-	290.7	290.7	-	-	-		
	畑利用	表作	大 麦	3.5	3.5	-	5.6	5.6	164	164	-	5.7	5.7	-	-	-		
			な す	0.2	0.2	-	0.3	0.3	36	36	-	0.1	0.1	-	-	-		
			裏作	そ ば	3.5	3.5	-	5.6	5.6	1,289	1,289	-	45.1	45.1	-	-	-	
合 計				66.4	66.4	-	105.6	105.6										

※表内の作付面積は、本地率を考慮した値である。

５． 労働改善計画

(第9表－4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量（hr/10a）				備考
				区分	現況	計画	増減	
農業 用水 施設	田	水稲	59.2	人力	17.3	17.3	－	
				機械	3.6	3.6	－	
	畑 利用	大麦	3.5	人力	5.3	5.3	－	
				機械	2.4	2.4	－	
		なす	0.2	人力	328.5	328.5	－	
				機械	4.8	4.8	－	
		そば	3.5	人力	4.4	4.4	－	
				機械	2.1	2.1	－	
				人力				
				機械				
				人力				
				機械				
				人力				
				機械				
				人力				
				機械				
合 計			66.4					

※表内の作付面積は、本地率を考慮した値である。

６． 級地別土地利用区分

(第9表－5)

土地利用区分 級地名		農用地造成 (ha)					干 拓 (ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)				該 当 事 項 な し							
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(桑園)											
その他												
計												

７． 土地配分計画

(第9表－6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)								備考
		田	輪換耕地	畑					計	
				普通畑	牧草畑	樹園地				
増 反		()	()	()	()	()	()	()	()	
入 植		()	()	()	()	()	()	()	()	

第3節 用水計画

1. 計画基準年

計 画 基 準 年..... 令和1年
福井地方気象台小浜観測所（観測期間：平成5年～令和4年〔30年間〕）

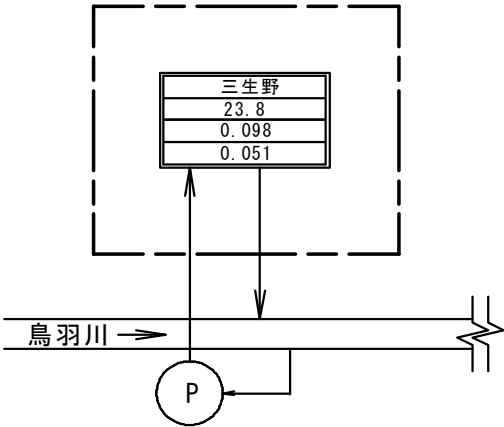
2. 計画かんがい方式

かんがい方式..... 自然圧パイプラインかんがい

かんがい期間..... 4月1日～9月30日

3. 計画用水系統

【事業範囲】若狭第2地区



凡 例	
(イ) 地区内	(イ) 系統名
(ロ)	(ロ) 受益面積 (ha)
代播期	(ハ) 代播期必要水量 (ml/s)
普通期	(ニ) 普通期必要水量 (ml/s)
	(ホ) 流域面積 (ha)
(イ) 地区外	(ヘ) 代播期利用可能量 (ml/s)
(ホ)	(ニ) 普通期利用可能量 (ml/s)
代播期	(ヘ)
普通期	(ト)

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

系統名 項目	種別	面積 (ha)			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい		
		事業名			普通期 計画平均単位 用水量 (mm/日)	代掻期 計画代 掻単位 用水量 (mm/日)	面積 (ha)	一日当たり 計画平均 灌水深度 (mm/日)	平均間 断日数 (日)	面積 (ha)	一日当たり 計画平均 かん水 深 (mm/日)	平均間 断日数 (日)	面積 (ha)
		農業 用排水		計									
三生野用水	用水	23.8		23.8	22	150	12.5	4	3	11.3	—	—	—
計（全体）		23.8		23.8			12.5			11.3			

(第10表-1-1)

その他		消費 水量	損失 率	粗用水量		備考
計画平均 単位用水量	面積			平均	最大	
(mm/日)	(ha)	(m ³ /s)	(%)	(m ³ /s)	(m ³ /s)	
—	—	0.089	10	0.051	0.098	
		0.089		0.051	0.098	

(2) 営農飲雑用水

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積 (ha)		日当給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考
		事業名		単位給水量 (㎡/日)	最大給水量 (㎡/日)			
			計					
		該 当		事 項	な し			

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

項 目 区 分	消 費 水 量 a (千m ³)	有効 雨量 b (千m ³)	純 用 水 量 c=a-b (千m ³)	粗 用 水 量 d=c/(1-a) (千m ³)	現況利用可能水量			不 足 水 量		水 源 依 存 量		水源 工種	備考
					水 源 名	取水地点 利用 可能量	圃場利用可 能量	純不足 水量	全不足 水量	水 源 名	水 量		
						e (千m ³)	f (千m ³)	g=c-f (千m ³)	h=d-e (千m ³)		(千m ³)		損失率 α
					該 当	事 項	な し						
計													

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (km ²)		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備 考
	直接	間接	事業名							
					計					
					該 当 事 項	な し				

(イ) 井堰及び自然取入口

(第10表-4)

項目 取水施設名	河 川 名	流域面積 (km ²)	かんがい面積 (ha)			取水量 (m ³ /s)		渇水量 (m ³ /s)	備 考
			事 業 名			最大	平均		
					計				
				該 当	事 項	な し			
計									

(ウ) 揚水機

(第10表-5)

項 目 名 称	水源名	かんがい面積 (ha)		所要水量 (m³/s)		揚 水 機				備 考
		事 業 名				実揚程 (m)	揚水量 (m³/s)	台 数 (台)	全揚水量 (m³/s)	
			計	最 大	平 均					
				該 当 事 項 な し						
計										

(エ) 用水路

(第10表-6)

項 目 名 称	かんがい面積(ha)			最 大 通水量 (m³/s)	延長 (km)	構 造	備 考
	事 業 名						
			計				
				該 当 事 項 な し			

(オ) その他の水源施設

該 当 事 項 な し

(3) 水質水温

(第10表-7)

時 間 別	かんがい面積	水 温		水 質	被 害 量	備 考
		最 高	最 低			
		該 当 事 項		な し		

第4節 排水計画

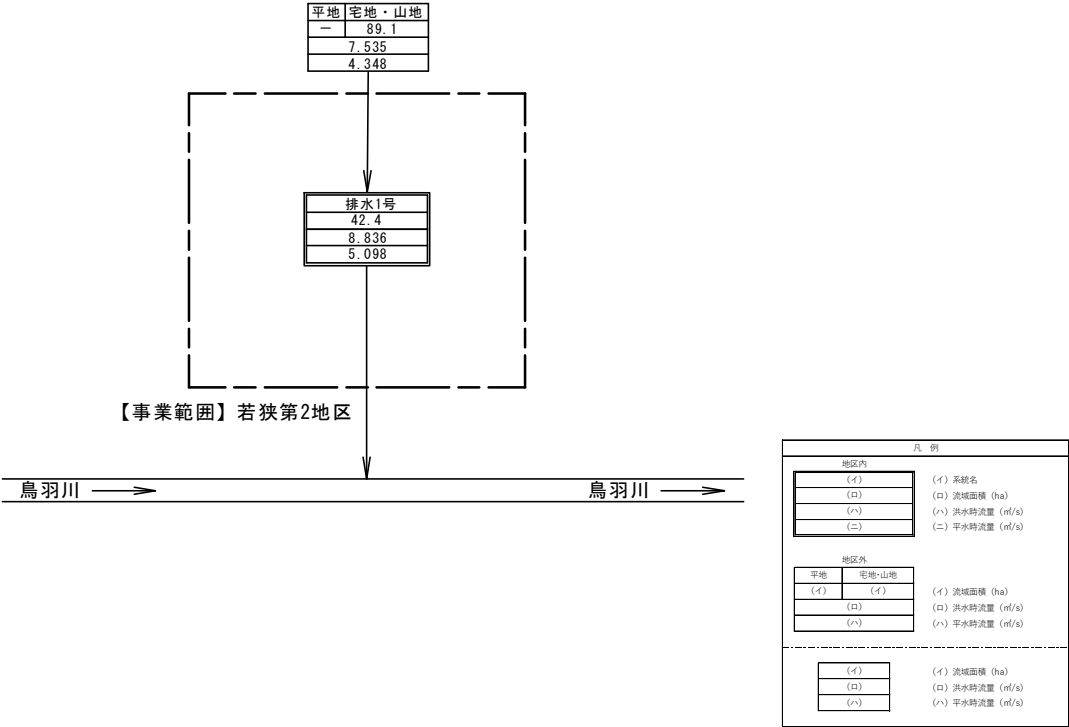
1 計画基準雨量

観 測 期 間・・・福井地方気象台小浜観測所 S54年～R6年（46年間）
確 率 日 雨 量・・・1/2 ＝ 96.6 mm/日
1/10 ＝ 167.3 mm/日
単 位 排 水 量・・・【4時間雨量4時間排除】
1/2 平地：1.23 宅地：2.05 山地：2.05 m³/s/km²
1/10 平地：2.13 宅地：3.56 山地：3.56 m³/s/km²
【合理式】
1/2 平地：2.46 宅地：4.11 山地：4.11 m³/s/km²
1/10 平地：4.27 宅地：7.12 山地：7.12 m³/s/km²

2. 計画排水方式

自 然 排 水

3. 計画排水系統



4. 計画排水量

(第11表-1)

項目 排水 系統名	受 益 面 積 (ha)			流 域 面 積			基準 雨量 (mm)	降 雨 に よ る 直接単位流出量 ($\text{m}^3/\text{s}/\text{km}^2$)			基底流出 量 ($\text{m}^3/\text{s}/\text{km}^2$)		全排水量 (m^3/s)			単位排水量 ($\text{m}^3/\text{s}/\text{ha}$)			
	事 業 名			(ha)				平地	宅地	山地	平地	山地	平地	宅地	山地	平地	宅地	山地	
	用排水		計	平地	宅地	山地													
排 水 1 号	42.4		42.4	49.7	30.3	64.0	Q=167.3	【合理式】 [平地] 平水(1/ 2)=2.46 洪水(1/10)=4.27 [宅地・山地] 平水(1/ 2)=4.11 洪水(1/10)=7.12			-	-	2.122	2.157	4.557	0.043	0.071	0.071	
							q=96.6												
合計	42.4		42.4	49.7	30.3	64.0							2.122	2.157	4.557				

5. 排水対策

(1) 排水水門

(第11表-2)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計 画		排 水 本 川			備 考
		事 業 名			排水量 (m ³ /s)	地区内たん水深 (m)	名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
				計						
					該 当	事 項	な し			

(2) 排水機

(第11表-3)

項 目 名 称		流域面積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)					排 水 本 川				備 考
			事 業 名			排水量 (m ³ /s)	地区内たん水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
					計							
						該 当	事 項	な し				

(3) 排水路

(第11表-4)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計 画 排水量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造	排 水 本 川			備 考
		事 業 名						名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		用排水		計							
末 端 排 水 路	1.440	42.4		42.4	8.836	0.2	HF-1000×2300 ～1300×2600	鳥羽川	—	—	
計	1.440	42.4		42.4	8.836	0.2					

(4) その他

該当事項なし

6. たん水検討

該当事項なし

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道 路

(第12表-1)

項 目 路線名	幅 (有効) × (m)	延 長 (km)	構 造	既設道路との関係	備 考
	該 当 事 項 な し				
計					

(2) 索 道

(第12表-2)

項 目 路線名	能 力 (t/hr)	延 長 (m)	接 続 道 路 名	備 考
	該 当 事 項 な し			

2. 路線配置図

該 当 事 項 な し

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

(第13表-1)

項 目 土地利用区分	主 要 作 物	自 然 傾 斜	耕 地 の 形 態	標 準 区 画 の 形 状	備 考
	該	当	事	項	な し

(2) 末端道水路配置図

該 当 事 項 な し

2. 土壌改良

(第13表-2)

項目 区分	面積 (ha)	土 壌 統(区)名	pH		置換酸度 (Y1)	りん酸 吸収係数 (mg/100g)	h a 当たり所要量			備 考
			H ₂ O	KCl			石灰 (t)	りん酸質 資材(t)	有機質 資材(t)	
			該	当	事	項	な	し		

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該 当 事 項 な し

2. 計画洪水量及び調節量

(第14表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水到達 時間 (hr)	計画 洪水量 (m ³ /s)	安全 洪水量 (m ³ /s)	必要 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節後 流量 (m ³ /s)	調節後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後 の最大 流量の差 (m ³ /s)	最大 調節量 (m ³ /s)
			該	当	事	項	な	し		

3. 貯 水 池

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積(km ²)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯水量(千m ³)			計画調節 流量(m ³ /s)	可能調節 流量(m ³ /s)	備 考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			
			該	当	事	項	な	し	

4.洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

該 当 事 項 な し

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該 当 事 項 な し

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該 当 事 項 な し

5.管理計画

(1) 管理機構

該 当 事 項 な し

(2) ダム管理操作上の各種基準

該 当 事 項 な し

(3) 洪水調節要領

該 当 事 項 な し

第8節 干拓計画

(第15表)

項 目 名 称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T. P. m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (hPa)	備 考
		該 当	事 項 な し			

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長 辺 × 短 辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備 考
	該 当 事 項 な し				
計 - - - - -					

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面 積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱 い 深 (cm)	土 量 (m³)	備 考
	該 当 事 項 な し			

(3) 末端道水路配置図

該 当 事 項 な し

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 (m ³ /s/ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口以 下の排水方法	備 考
	区画整理	事業名	計						
				該 当 事 項	な し				
計									

(2) 心土破碎

(第16表-3-2)

項目 区分	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	土 壤 硬 度	備 考
	区画整理	事業名	計			
				該 当 事 項	な し	
計						

3. 客 土

(第16表-4)

項目 区 分	面 積 (ha)			土壌統 (区) 名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客土量 (m³)	土壌の性質		備 考
	事 業 名				現況 平均	計画 平均	現況 平均	計画 平均		受益地	採土地 (客土材料)	
			計									
				該 当								
計												

4. 農地保全

(1) 防災林

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考
	該 当 事 項	な し		

(2) 排水工

(第16表-5-2)

項目 名称	基準雨量 (mm/日)	土 性	流出率	排 水 量		備 考
				単位排水量 (m ³ /s/ha)	全排水量 (m ³ /s)	
		該 当 事 項	な し			

(3) 侵食(崩壊)防止工

(第16表-5-3)

項目 施設名	位 置	支配面積 (ha)	機 能	備 考
	該 当 事 項	な し		

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

該 当 事 項 な し

(2) 計画洪水量

該 当 事 項 な し

2. 堤体補強計画

該 当 事 項 な し

3. 取水施設改修計画

該 当 事 項 な し

第2節 排水施設

1. 排水水門

(第18表-1)

項目 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m ³ /s)	備考
		該 当 事 項 な し					
計							

2. 排水機

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m ³ /s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (kw)	台数 (台)	
			該 当 事 項 な し								
計											

3. 排水路

(第18表-3)

項 目 水路名	受 益 面 積 (ha)			排水量 (m³/s)	延 長 (km)			構 造	勾配	主要構造物	備 考
	事 業 名				開きよ	トンネル その他	計				
	用排水		計								
末端排水路	42.4		42.4	8.836	0.24	—	0.24	HF-1000× 2300 ～1300×2600	1/500	取付水路	
計	42.4		42.4	8.836	0.2	—	0.2				

4. その他排水施設

該 当 事 項 な し

第3節 道路及び索道

1. 道 路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項 目 区 分	路 線 名	幅(有効)×延長 (m) (km)	構 造	付 帯 構 造 物			最 急 勾 配 (%)	同左の 延 長 (m)	最小曲 線半径 (m)	備 考
				名 称	構 造	数 量 (箇所)				
			該 当 事 項	な し						
計										

(2) 道路主要構造物

(第19表-2)

項 目 路線名	名 称	規 模 構 造	延 長 (m)	箇 所 数 (箇所)	備 考
		該 当 事 項	な し		

2. 索 道

(第19表-3)

項 目 名 称	延 長 (m)	高 低 差 (m)	能 力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				形 式	動 力	
		該 当 事 項	な し			

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜 根

(第20表-1)

項 目 区 分	樹 種	樹 径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
			該 当 事 項	な し		
計						

(2) 除 礫

(第20表-2)

項 目 区 分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m³/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
		該 当 事 項	な し		
計					

(3) 開墾作業

(第20表-3)

項 目		面 積 (ha)	工 法	備 考
区 分	造成工法			
地 目				
		該 当 事 項 な し		
計				

(4) 地目変換

(第20表-4)

項 目		面 積 (ha)	工 法	備 考
区 分				
		該 当 事 項 な し		
計				

(5) 末端用水路等

(第20表-5)

項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
区 分				
	該 当 事 項 な し			

(6) 末端排水路等

(第20表-6)

項 目	数 量	規 模	構 造	備 考
区 分				
	該 当 事 項 な し			

2. 土壤改良

(第20表-7)

項 目	面 積	石 灰 量	りん酸質資材量	有機質資材量	備 考
区 分	(ha)	(t)	(t)	(t)	
	該 当 事 項 な し				
計					

第5節 洪水調節施設

1. 貯水池

該 当 事 項 な し

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

(第21表-2)

名称			位置	長 (m)			計画洪水位 (m)	付帯施設	備 考
			堤	固定部	可動部	計			
型式	集水面積 (km ²)	堤 高 (m)							
		該	当	事	項	な	し		

(2) 導水路

(第21表-3)

項目 水路名	通水量 (m ³ /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	備 考
		トンネル	その他	計			
		該	当	事	項	な	し

第6節 干拓施設

1. 堤 防

(第22表-1)

項 目 名 称	型 式	延長 (m)	構 造				原地盤標高 (m)		備 考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平 均	
			該	当	事	項	な	し	

2. 潮止め

(第22表-2)

項目 名称	工 法	幅 員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備 考
		該	当	事	項	な	し

3. 付属施設

該 当 事 項 な し

4. 埋 立

(第22表-3)

項目 区分	面 積 (ha)	埋 立 標 高 (m)	埋 立 土 量 (m ³)	施 工 方 法	備 考
		該 当	事 項 な し		
計	0.0				

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標 準 区 画	土 量(m ³)	面 積(ha)	土 量(m ³)	
全 区		該 当	事 項 な し			
計	0.0					

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
		該 当	事 項 な し	
計				

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

項目 区 分	数 量	規 模	構 造	備 考
		該 当	事 項 な し	
計				

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項目 区分	面 積 (ha)			集 水 渠				吸 水 渠						集 水 渠 出 口 以下の排水施設			備 考
	事 業 名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (mm)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
			計														
				該 当	事 項 な し												
計																	

(2) 心土破碎

(第23表-4-2)

区分	項目	対象上層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
			該 当 事 項	な し		
計						

3. 客 土

(第23表-5)

区分	項目	面 積 (ha)			客入土量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備 考
		事	業	計					
				該 当 事 項	な し				
計									

4. 除 礫

(第23表-6)

区分	項目	対象上層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
			該 当 事 項	な し		
計						

5. 農地保全

(1) 防風林

(第23表-7)

区分	項目	幅 (m)	延 長 (m)	面 積 (ha)	樹 種	植栽本数 (本)	備 考
			該 当 事 項	な し			
計							

(2) 排水路

(第23表-8)

区分	項目	延 長 (m)	流 量 (m ³ /s)	構 造	備 考
			該 当 事 項	な し	
計					

(3) 侵食防止工

(第23表-9)

名称	項目	構 造	数 量	備 考
		該 当 事 項	な し	
計				

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

(第24表)

名 称					位 置			
堤 体	型 式	流 域 (km ²)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (m ³)	堤 頂 幅 (m)	貯 水 量 (千m ³)	備 考
				該 当	事 項	な し		
洪水 吐	型 式	排 水 量 (m ³ /s)	規 模 (m)	備 考	取 水 設 備	型 式	取 水 量 (m ³ /s)	備 考

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

該 当 事 項 な し

(2) 漏水防止工

該 当 事 項 な し

第6章 附帯工事計画

該 当 事 項 な し

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

換 地 区	着 手	完 了 予 定	備 考
全区	令和 8 年度	令和 11 年度	

第8章 環境との調和への配慮

施工の際は、建設機械は排出ガス対策型建設機械、低騒音低振動型建設機械の使用に努め、大気環境の汚染及び騒音・振動を防止する他、ドライ施工を心がけ、濁水の発生軽減に努める。また、施工による建設廃材の発生を可能な限り抑制又は、リサイクルする他、野生生物への配慮として、原則、地区内発生土を利用し多様な緑地等の保全に努める。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

該 当 事 項 な し

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換 地 区 名	換 地 区 の 所 在	面 積 (ha)
	該 当 事 項 な し	

2. 換地区を設定する理由

該 当 事 項 な し

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換 地 区 名	地 積 の 基 準
	該 当 事 項 な し

[illegible][illegible]

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

換地区分	地帯別、グループ別団地の設定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位置の選択方法	1戸当たりの目標団地数	区画畦畔の取扱い
		該 当 事 項 な し		

4. 非農用地の換地方法

(第25表-5)

換地区名	用 途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得予定者	その他
		該 当 事 項 な し				

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評 価 の 方 法

標準地比準方式

2. 清 算 の 方 法

比例地積清算方式

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区 分 換地区名	一 時 利 用 地 の 指 定 予 定 年 度	換 地 計 画 の 決 定 予 定 年 度	換 地 処 分 予 定 年 度	備 考
		該 当 事 項 な し		

第6節 換地処分の時期に関する特則

該 当 事 項 な し

区 分 \ 事業名		農業用排水施設 (単位：千円)	備 考
用 水 路 工		92,000	令和 7 年度単価
排 水 路 工		88,400	
小 計		180,400	
測 量 試 験 費		28,840	
用 地 補 償 費		2,000	
小 計		30,840	
計		211,240	
地 方 事 務 費		—	
総 事 業 費		211,240	
関連事業 (参考)			

第11章 効 用

(第27表)

事業名	区 分	年増加見込効果額 (千円)	年増加見込所得額 (千円)	備 考
農 業 用 水 施 設	食料の安定供給の確保 に 関 す る 効 果	23,129	1,162	
	作 物 生 産 効 果	17,388	—	
	営農経費節減効果	4,899	—	
	維持管理費節減効果	842	1,162	
	農 村 の 持 続 的 発 展 に 関 す る 効 果	—	—	
	農 村 の 振 興 に 関 す る 効 果	—	—	
	多 面 的 機 能 の 発 揮 に 関 す る 効 果	183	—	
	景観・環境保全効果	183	—	
	そ の 他 の 効 果	3,143	—	
	国産農産物安定供給効果	3,143	—	
	計	26,455	1,162	令和 7 年度単価

(参考)

総 費 用 (現在価値化) : 455,625 千円
 総便益額(現在価値化) : 539,400 千円
 総 費 用 総 便 益 比 : 1.18 ≥ 1.00
 総 所 得 償 還 率 : 17.7 % ≤ 20 %
 増 加 所 得 償 還 率 : — % ≤ 40 %

第12章 関連する事業

(第28表)

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受益面積 (ha)	備 考
		該 当 事 項 な し		

第13章 現 況・計 画 図 面

別途添付

1. 計 画 平 面 図